

ボランティア募集のご案内

当院では、患者さまの健康回復を共に願い、ご協力くださるボランティアの方を募集しております。

【活動内容】
受診受付手続き、院内各場所への案内、院内美化
高齢者の方の見守りと話し相手 等

【応募条件】
半年以上継続して活動できる方(学生を除く)
※無報酬での奉仕活動です。
※曜日・時間についてはご相談下さい。

お問い合わせ 済生会宇都宮病院
地域連携課：荻津 / 人事課：山中
TEL 028-626-5500 (代)



INFORMATION 1

一般外来診療のご案内

受付時間 **8:30~11:00**
(予約患者様の受付時間は、この時間限りではございません)

診療科により受付時間が異なる場合がございますので、詳細はホームページまたは初診受付前設置の「診療部各科外来担当医師表」をご確認ください。受診科に関するご相談は、1階エントランスホール「総合案内」の看護師にお気軽にお声かけください。

年末年始休診のお知らせ

平成28年12月29日(木)

～ 平成29年1月3日(火)



上記の期間中、一般外来の診療が休診となります。
急を要する場合には、右下「救急医療体制のご案内」に沿った受診をお願い致します。

INFORMATION 2

市民公開講座のお知らせ

※場所はすべて2階グリーンホールです。

参加無料

ホスピス緩和ケア週間記念「住み慣れた街で最期まで生きて逝く」

日時 10月29日(土) 14:00～16:00

講師 音楽療法士 金子 悦子
ケアタウン小平クリニック 山崎 章郎 先生

内容 ケアタウン小平チームの取り組みの軌跡について

第3回 脳卒中市民公開講座「NO 卒中!」

日時 11月5日(土) 14:00～16:00

講師 神経内科 主任診療科長 富保 和宏
脳神経外科 主任診療科長 中務 正志
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 佐藤 郁美
管理栄養士 阿久津 貴子

内容 脳卒中の内科・外科的治療、予防の重要性、食事療法について

INFORMATION 4

無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。

治療費の支払いにお困りの方は、1階「がん相談支援センター／医療相談・看護相談室」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

INFORMATION 5

地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたく考えています。当院では1階「がん相談支援センター／医療相談・看護相談室」で緩和ケア認定看護師を中心とする看護スタッフが、がんに関するさまざまな質問や相談におこたえています。

リレーエッセイ



副院長
(兼)産婦人科主任診療科長

飯田 俊彦

天才外科医

近頃、ドキュメンタリーからドラマ、バラエティーに至るまで、医師を主人公にしたテレビ番組を目にする機会が多い。そういった中「天才外科医」、「神の手を持つ男」、「スーパードクター」等々、これらは世間で名医と呼ばれる医師たちを紹介する番組で彼らに贈られた称号の数々だ。登場する医師たちの仕事にかける情熱と高い技術、この高みに至るまでの苦労と努力には敬意を表する。しかしなぜか腑に落ちないものが残る。このような手放しの称賛は果たして医師という職業に相応しいのだろうか。

芸術やスポーツあるいは科学の分野で天才と呼ばれる人たちはいる。しかしその天才達も、その域に達するまでには数多くの失敗の繰り返しがあったに違いない。人は失敗や過ちから多くのことを学び次の成功へとつなげるからこそ、時に失敗の経験も美談として語られる。

一方、医師は向かい合う対象が人の命であるから、過ちは許されない。し

かし人である限り過ちは犯す。このジレンマを抱えながら治療においては少しでも確実な成功を求めるため、先人の築いた実績の上に慎重に改良を重ね、決して大きな冒険をしてはならないとされる。その意味から医療においては「天才」「神の手」は存在せず、ただ良医がいるだけだ。

かつて内科学の権威とされた東大教授の沖中重雄氏は昭和38年の退官講演の中で、「自分の生涯の正診率(正しく診断を下した割合)は86%である」と述べた有名な逸話がある。現代のようにCT(コンピュータ断層撮影)もMRI(磁気共鳴断層撮影)もなかったとは言え、当時の日本最高の名医と言われた沖中先生でさえ14%は誤診するのだと人々は驚いた。内科や外科の違いこそあれ、医療は常に不確実な対象を相手にしており、完全などあり得ないことを示唆している。

いやしくも名医と呼ばれる者は、凡医とは比較にならないほど多くの症例を経験したに違いない。その中には彼にしか救えなかった命も多々あれば、過ちにより期待とは異なる結果に終わってしまった命もあるだろう。そうした不幸な結末を持つ患者や家族が、かつての主治医がテレビで誉めそやされているのを見たとしたらどのように思うだろうか。世間から業績を称えられ、それに応えて自らを語る時ほど、医師は心の中で手を合わせいつそう謙虚にならねばならないと思うのである。

INFORMATION 6

栃木県からのお知らせ

とちぎ子ども救急電話相談

☎ 028-600-0099

午後6:00～午前8:00(平日)

午前8:00～午後6:00(休日)

お子さんの急な病気やけがで心配なとき、ご連絡ください。
看護師が対応のアドバイスをいたします。



診療実績	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月
延外来患者数	32,489人	30,382人	31,929人
実入院患者数	1,452人	1,411人	1,527人
平均在院日数	12.6日	12.1日	12.2日
救命救急センター患者数	1,221人	1,363人	1,333人
救急車台数	457台	514台	476台
手術件数	640件	551件	618件



編集後記

みやのわ
編集スタッフの



清々しく過ごしやすいくなり、秋が深まってきましたね。秋は私にとって一番好きな季節で毎年が専ら「食欲の秋」です。この時期は体重計の思わぬ数値に驚き、絶句します。
同じくお決まり事のように暑い夏を乗り切つてようやく落ち着いた頃だと思つた9月下旬頃から、夏バテならぬ「秋バテ」で体調不良になることが多いように思います。だるい、食欲が無い等...、私だけではなく夏の暑さが年々厳しくなると共に「秋バテ」の症状の方が増えているのだとか。夏の疲れがそのまま残つて、秋になってから体調を崩してしまうなんてせっかくの秋が堪能できなくて残念ですよね。いつも規則正しい生活を心がけて目一杯、秋を楽しみたいものです。
最後になりますが、「みやのわ秋号」をお手にとっていただきありがとうございます。今後もみなさまとの「わ」を広げられる広報誌を目指していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

ちょこっとメモ

10月4日～10日

世界宇宙週間

1957年のこの日に世界初の人工衛星・スプートニク1号が打ち上げられ、その10年と6日後、「宇宙空間の探査および利用における国家活動を律する原則に関する条約(宇宙条約)」が発効しました。このため10月4日～10日の間を、宇宙科学・技術の貢献を記念する週間として、宇宙週間と呼ぶそうです。
さて、これからの季節は空気が澄み、ますます星が美しく見えるようになりますね。天体観測をしながら、人類が夢を追った足跡に思いをはせる秋の夜長なんて、なんとロマンチックではありませんか?